

## 船艙内作業の安全性向上への第一歩！

--- 画像認識技術による「作業者接近検知装置（ブラクステール）」の導入 ---



日鉄住金物流株式会社は、船艙内のフォークリフト作業における安全対策として、画像認識技術による作業者接近検知装置『ブラクステール』を実用化しました。

輸出製品を船積みする際には、岸壁クレーンで船艙内に鋼材を吊り入れた後、フォークリフトで積み付けを行っており、狭い作業範囲に作業者と重機が混在する環境となります。これまでの安全対策としては、フォークリフトの運転手が周囲の死角を確認するカメラの設置や、フォークリフト周辺に作業者が接近した際に警報を鳴らす検知装置を使用してきました。

しかしながら、この装置は以下の理由から不要な警報があり、警報の信頼性が低くならざるを得ませんでした。

- ◆超音波や電磁波を利用した方式のため、四方を鋼板で囲まれた船艙内では乱反射の影響を受け易い
- ◆狭い作業環境においては、退避している作業者まで検知してしまう

そこで当社は、「ヒトとモノを判別可能な画像認識技術」を用いた検知装置『ブラクステール』導入に向け、グループ会社である日鉄住金物流鹿島株式会社と総輸入元であるエウレカ社の三社で、作業実態に合わせた仕様とすべく検討を重ねてきました。

2016年4月より試験的に導入し、実作業での検知精度の検証を行った結果、フォークリフト後方の作業者の接近検知について有効性を確認することができ、実用化することとなりました。

今後、日鉄住金物流グループでは、船艙内フォークリフト作業の安全対策としてブラクステールの活用を標準仕様とし、全社的に更なる安全作業体制を確立してまいります。

### 【ブラクステールとは】

フランス原子力・代替エネルギー庁の研究機関が開発した画像認識技術により人・物を判別・検知（人・物に対して各々検知範囲設定が可能）して運転手へ警報するシステムで、フランスのARCURE社が製品化。欧州では既に多くの導入実績があり、国内では2015年5月よりエウレカ社（福井県福井市）が販売を開始。

### 【お問い合わせ先】

日鉄住金物流株式会社 総務部 広報課 TEL:03-3553-1333